

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

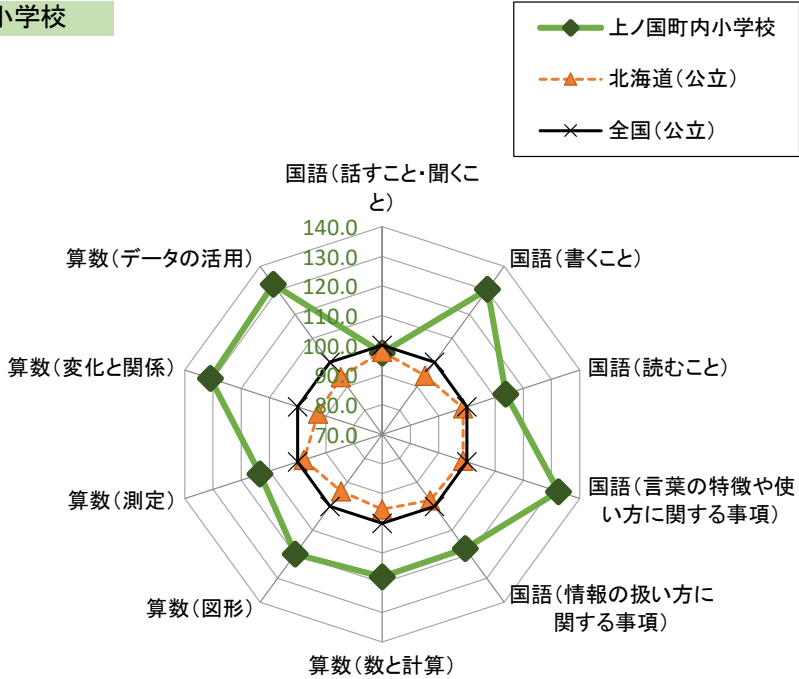
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

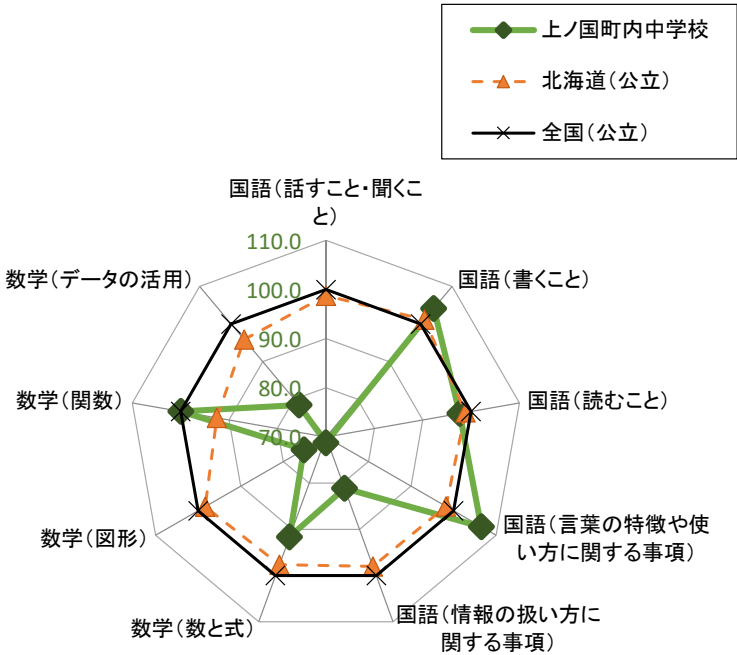
※中学校英語は4技能(聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと)の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
上ノ国町	72	70	61	49	493
北海道(公立)	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



中学校

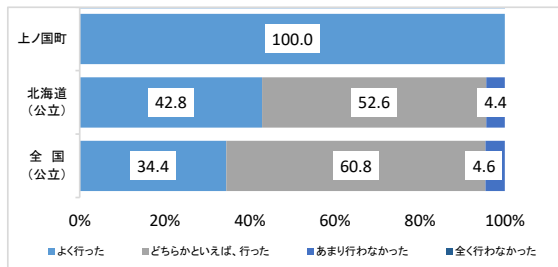


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

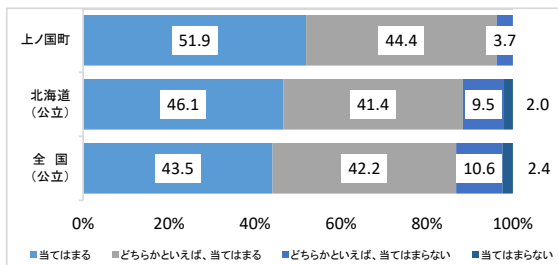
学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



小学校

<児童質問>

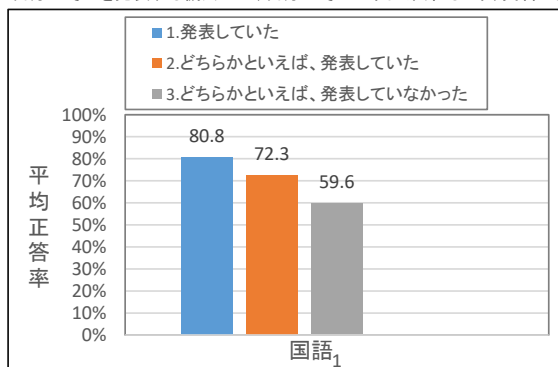
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

<クロス集計>

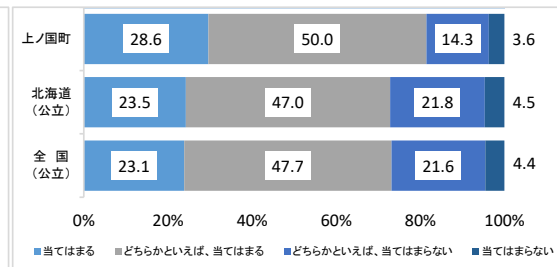
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しましたか



中学校

<生徒質問>

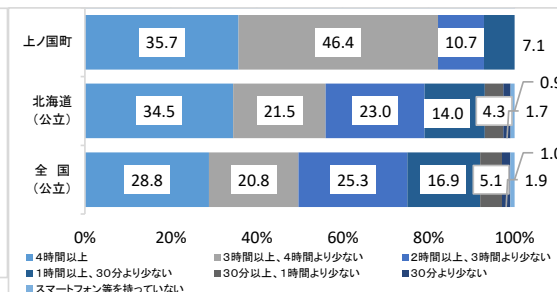
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



中学校

<生徒質問>

普段、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか



○ 調査結果の分析

・小学校において、それぞれのよさを生かしなが、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動の工夫を行ったことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答する児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、自分の考えをまとめる活動を行っていたと回答した割合が全国及び全道を上回ったことにより、国語の「書くこと」の領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

・中学校において、1日当たりのスマートフォン等でのSNSや動画の視聴時間が2時間以上の生徒の割合が全国及び全道よりも上回っており、生活習慣の改善が課題となっている。

・小学校において、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと回答した児童ほど、国語及び算数の平均正答率が高い傾向がある。

○ 今後の改善方策

・全国学力・学習状況調査結果の成果や課題、効果的な取組の共有などを通じた小学校と中学校の連携した取組や学習指導の実施。

・学校図書館や町民図書室の整備と利用を促進する情報発信の工夫、読書の動機付けとなる企画の実施

・児童生徒の自己指導能力を育む教育活動の充実や家庭との連携による生活習慣改善のための支援の実施

・保育所、小学校、中学校、高等学校が連携する「学びの共同体」を中心とした円滑な接続、体系的な教育活動の実施